

島津幸子 教授 略歴・主な業績

略 歴

- 1962年2月22日 北海道に生まれる
- 1984年3月 お茶の水女子大学文教育学部史学科卒業
- 1985年9月 中華人民共和国北京大学中文系留学（～1987年1月）
- 2000年4月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程前期課程（言語文化専攻）入学
- 2002年3月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程前期課程（言語文化専攻）修了
- 2002年4月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程後期課程（比較社会文化学専攻）入学
- 2003年4月 文京学院大学 経営学部 非常勤講師（～2010年3月）
- 2006年9月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程後期課程（比較社会文化学専攻）修了
- 2006年9月 博士（人文科学・お茶の水女子大学）
- 2007年4月 お茶の水女子大学 非常勤講師（～2010年3月）
- 2008年4月 成蹊大学 非常勤講師（～2010年3月）
- 2010年4月 立命館大学法学部准教授
- 2014年4月 立命館大学法学部教授
- 2017年3月14日 逝去（享年55歳）

所属学会

- 日本語文法学会
日本中国語学会
お茶の水女子大学中国文学会

2014年11月～2015年10月 日本中国語学会 編集委員

2016年4月～2017年3月 日本中国語学会 幹事

主な業績

論文

「時間を表すフレーズを構成する前置詞“等”と“当”について」

中国語学 249号 pp.211-228 (2002年10月)

「イメージスキーマからとらえた“等”の文法化」

お茶の水女子大学中国文学会報第22号
pp.17-31 (2003年4月)

「“以后”“后来”“然后”」

お茶の水女子大学中国文学会報第23号
pp.17-31 (2004年4月)

「“一A就B”形式と“刚A就B”形式」

中国語学 251号 pp.136-155 (2004年11月)

「“一A就B”形式の構文的意味」

お茶の水女子大学中国文学会報第25号
pp.19-34 (2006年4月)

「“在A时候”における“在”

——グラウンディング機能を担う一形式——」

中国語学 256号 pp.158-177 (2009年10月)

「動詞に前置される“一”の文法機能と意味」

中国語学 258号 pp.194-212 (2011年10月)

「“一A就B”構文の非プロトタイプの意味」

「立命館法学」別冊『ことばとそのひろがり (5)』
竹治進教授退職記念論集 pp.141-163 (2013年3月)

「“等 A, B”構文における“等”の文法化」

木村英樹教授還暦記念『中国語文法論叢』
(白帝社) pp.352-372 (2013年5月)

「“等 A, B”句式里“等”的语法化」

中国語文法研究 2014年卷 (通巻第3期)
pp.42-54 (2014年6月)

「“着”存現文と“了”存現文の意味機能」

漢語与漢語教学研究第7号 pp.26-38 (2016年7月)

「V・le・X・Yの意味機能」

楊凱榮教授還暦記念論文集『中日言語研究論叢』
(朝日出版社) pp.661-678 (2017年7月)

辞書・教科書・問題集

相原茂編著『はじめての中国語学習辞典』

(朝日出版社) (2002年2月)

相原茂編『講談社中日辞典 第二版』

(講談社) (2002年2月)

中国語コミュニケーション協会編『TECC 実践過去問題集 [第15回・16回]』

(朝日出版社) (2005年5月)

相原茂編『講談社日中辞典』

(講談社) (2006年3月)

木村英樹・宮本徹編著『改訂版 中国語入門Ⅱ ('10)』

((財)放送大学教育振興会) (2010年3月)

学会報告

「時間フレーズを構成する“等”と“当”について」

日本中国語学会 関東支部例会

2002年4月20日

於：お茶の水女子大学

「イメージスキーマからとらえた“等”の文法化」

日本中国語学会 第52回全国大会

2002年10月27日

於：金沢大学

「“一A就B”形式の構文的意味」

日本中国語学会 第53回全国大会

2003年10月26日

於：早稲田大学

「2つの事態の時間関係を表す形式

——“一A就B”と“剛A就B”を中心に——」

日本中国語学会 関東支部例会

2004年7月17日

於：お茶の水女子大学

「明示的接続形式をもたない条件文」

日本中国語学会 第54回全国大会

2004年11月7日

於：京都大学

「“一A就B”形式の構文的意味」

お茶の水女子大学中国文学会 2005年度第4回例会

2005年12月3日

於：お茶の水女子大学

「[継起] という構文カテゴリを担う一形式

——“等 A, B”形式——」

日本中国語学会 第 57 回全国大会

2007 年 10 月 28 日

於：琉球大学

「“A 时候”と“在 A 时候”」

日本中国語学会 第 58 回全国大会

2008 年 10 月 26 日

於：京都外国語大学

「“等 A, B”構文における“等”の文法化」

日本中国語学会 関西支部例会

2012 年 12 月 2 日

於：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス

「“了”存現文の意味と機能」

日本中国語学会 第 64 回全国大会

2014 年 11 月 16 日

於：大阪大学

「複合方向補語が“了”と共に起する二つの形式」

第 47 回中日理論言語学研究会

2016 年 10 月 23 日

於：同志社大学大阪サテライト・オフィス

その他

「こんなことをやってます」

立命館ロー・ニューズレター 61 号 pp.3-4 (2010 年 6 月)

「中国語パフォーマンスコンテスト」

日本中国語学会電子通説第 78 号 (2013 年 1 月)

「日本中国語学会関西支部例会での研究発表を終えて」

立命館ロー・ニューズレター 72 号 pp.17-18 (2013 年 3 月)

